



第74回全国都市問題会議開会式の模様

復旧・復興が長期に及ぶことから、今後被災地に寄り添いながら支援を継続していく決意である」旨の「大会宣言」を行った。また、

復旧・復興が長期に及ぶことから、今後被災地に寄り添いながら支援を継続していく決意である」旨の「大会宣言」を行った。また、

復旧・復興が長期に及ぶことから、今後被災地に寄り添いながら支援を継続していく決意である」旨の「大会宣言」を行った。また、

〔行政部〕

長が「絆」で早期復興互いに助け合える連携を「さらに、大矢邦宣・平泉文化遺産センター館長から「三陸復光と世界遺産『平泉』」と題して一般報告を行った。

2日目は、岩手大学農学部教授、東日本大震災復興構想会議検討部会専門委員の広田純一氏をコーディネーターとして、戸羽太・陸前高田市、大橋建一・和歌山市長、遠野まごころネット理事長の多田一彦氏、日本財団学生ボランティアセンター長の西尾雄志氏、岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授の村山優子氏によるパネルディスカッションを行った。



地方公務員の自律的労務関係制度に関する会議に出席する南・天理市長

南・天理市長は、①協約締結権付与を含む地方公務員制度改革については、拙速に進めることなく、「国と地方の協議の場」において、地方の意見を踏まえた十分な協議を行うこと、②「地方公務員の労務関係制度は現在ようやく安定してきているところであるにもかかわらず、なぜ今、労働協約締結権付与を含む新たな労務関係制度に移行する必要があるのか」等の本会の疑問に対して説得力のある説明がないこと、③地方は、国と異なる特性を有していることから、単に国家公務員の措置との整合性だけでなく、地方公務員の実情や特性、さらには、住民サービスへの影響等を十分踏まえつつ、慎重かつ丁寧を検討

全国市長会の動き

9月24日～10月12日

全国市長会ホームページURL

<http://www.mayors.or.jp/>

#1 新たに1市が誕生

平成24年10月1日に1市が誕生しましたので、ご紹介いたします。新市の誕生により、平成24年10月1日現在の会員数は811(788市、23区)となります。

市名	埼玉県白岡市
市制施行日	平成24年10月1日
市役所所在地	〒349-0292 埼玉県白岡市千駄野432番地
電話	(0480)92-1111
人口	5万860人(平成24年9月1日現在)
住民基本台帳	
世帯数	1万9064戸(平成24年9月1日現在)
現在住民基本台帳	
面積	24.88km ²
旧構成市町村名	白岡町
市長名	小島卓

〔総務部〕

#2 平成24年度市町村長及び市町村協議会議長総務大臣表彰式において永年在職市長を表彰

10月5日(金)、全国町村会館において、平成24年度市町村長及び市町村協議会議長総務大臣表彰式が挙行され、樽床伸二・総務大臣から永年在職(在職20年以上)の現市長4名に対し、表彰状及び記念品が贈呈された。

〔調査広報部〕

#4 第5回地方公務員の自律的労務関係制度に関する会議に南・天理市長が出席

10月12日、総務省の「地方公務員の自律的労務関係制度に関する会議(座長・渡辺章労務協合理事長)」が開催され、本会から南・天理市長(行政委員会委員長・地方公務員制度改革検討委員会委員長)が出席した。

被表彰者は次のとおり。須田健治・新座市長、柏木征夫・御坊市長、速水雄一・雲南市長、宮路高光・日置市長。

なお、式典には、来賓として、本会副会長の黒木健二・日向市長、草川昭三・参議院総務委員長、大島敦・総務副大臣、稲見哲男・総務大臣政務官などが臨席した。

〔総務部〕

#3 第74回全国都市問題会議を開催、市長をはじめ約1600名が参加

10月11日、12日の2日間、盛岡市の「岩手県民会館」において、「都市の連携と新しい公共」東日本大震災で見えた「絆」の可能性をテーマに、後藤・安田記念東京都市研究所、日本都市センター及び盛岡市との共催により約1600名の参加者を得て、開催した。

1日目は、主催者を代表して本会会長の森民夫・長岡市長の開催あいさつに続き、仙台大学教授、東日本大震災復興構想会議委員の高成田享氏から「震災復興と都市の役割」と題した基調講演の後、開催市の谷藤裕明・盛岡市長が「私たちの未来は被災地とともに―未来へつなぐ復興の「絆」―」と題して主報告を行った。

その後、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授の平田オリザ氏が「文化による地域復興を目指して」、また、井口経明・岩沼市